

上越市財政調整基金残高、予想を超える146億円に 基金活用して市民負担の軽減、サービス充実を

上越市の財政における財政調整基金の積立金残高が2015年度末で、予想を大きく上回る146億円にもなる見通しであることから、この基金をめぐって市議会でも議論が行われています。

3月議会2日目の総括質疑では、日本共産党議員団の上野議員が、「過度な積み増しではないかとの指摘も聞かれるが、この点についてどう思うか、また、この間全国市長会や村山市長の国への働きかけ等もあり、地方交付税の見直し措置もあったことから、過度の積み増しは不要とは考えなかったのか」「市民に必要なサービスを維持するという観点では、どのように検討したのか」とたどりました。

これに対して村山市長は、「基金残高が増加した要因は、市税や地方交付税などの主要一般財源が、それぞれの年度の当初見込みに比べて増加したこと、国庫補助金などの特定財源の確保に精力的に取り組んできたこと、入札差金や執行差金を次年度以降の財源として留保してきたことなど」にあるとのべた上で、「今後の見通しにおいては、普通交付税が段階的に縮減する影響等から、平成28年度以降は歳入が歳入を上回り、この不足分を財政調整基金で補う状況が続く」「普通交付税等が国の制度改正に左右される要因に加え、災害や豪雪など不測の事態への対応、さらには平成35年度以降の次期財政計画における財源確保の必要性も見据えると、現時点での財政調整基金の残高が、過度の積み増しをしている水準にあるという認識は持っていない」と答えました。

しかし、上の表をご覧ください。これは2014年度決算に基づく数値です。県内20市の中で、上越市の財政調整基金の残高は、人口が4倍の新潟市に近い数値となっており、また基金総額では新潟市を上回っています。どう考えても「過度の積み増し」といわざるを得ませんね。

県内20市の「基金ため込み」ランキング（2014年度決算：単位千円）

自治体	人口	財政調整基金	自治体	基金総額
1 新潟市	804,413	9,604,440	1 佐渡市	21,584,315
2 上越市	200,179	9,196,886	2 長岡市	19,880,057
3 長岡市	278,923	8,876,351	3 上越市	16,863,917
4 佐渡市	59,606	7,971,896	4 新潟市	16,467,146
5 三条市	101,775	5,692,649	5 柏崎市	11,949,804
6 柏崎市	88,282	4,522,273	6 魚沼市	11,797,212
7 魚沼市	38,914	4,417,932	7 十日町市	11,207,309



【紅梅】吉川区総合事務所の東脇に紅梅があることは前から知っていましたが、既に開花しているとは気づきませんでした。気づいたのは雪の降った3月2日、白い雪の中で目立ちました。紅梅はバラ科です。

これまでの経過を見ればわかることですが、基金残高が増えた要因には市長答弁でふれられていないことがあります。そのひとつは行政改革の名のもとに紙おむつの助成などにみられるような数々の市民サービスを削減してきたことです。今必要なことは、過度の「積み増し」をやめ、市民の暮らしをあたためる行政サービスの充実や介護保険料などの「過度の負担」を軽減するために、この膨大な基金を使うことではないでしょうか。

年金者組合「春の集い」で挨拶

年金者組合上越支部の「春のつどい」が28日行われ、来賓として参加してきました。挨拶では、最近取り組んでいる「橋爪法一を囲む会」の中で出されている原発再稼働のことや市の行革リストラの対象となった市民サービスなどについて触れました。



新聞報道などで東京電力福島原発事故でのメルトダウン（炉心溶融）のマニユアル無視の対応が問題視されていたこともあって、関心は高かったですね。紙おむつ助成の削減されたことや新年度、布団丸洗いでの助成が削減されることも注目を集めました。参加者からは、市民のために頑張りたいと励まされました。



No.1747 2016.3.6
 発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら


春よ来い

第三九五回 カシラダカ

てつきり普通のスズメだと思っていました。雪が消えた地面を盛んにつついている小鳥たちのことです。体長は十数センチで、背中が茶色、腹は白でしたので、いつも見慣れているスズメとそっくりだったのです。

高田のSさんが先日、私の事務所に来てきた時のことでした。お昼になったので一緒にカップラーメンを食べ、何とはなしに外を見てみると、小鳥たちが近くにあるキハダの木や榛(はん)の木の枝から次から次へと地面に舞い降りていました。その数、十数羽、いやそんなもんじゃありません、数十羽の小鳥たちが舞い降りていたので。

この日は二月だというのに、とても暖かい日でした。お日様の力によって地面も相当暖められていたはず。いったい地面に何があつたのか。最初に降りた一羽がいいものを見つけ、それに気づいた他の小鳥たちもどんどん続いているように見えました。

Sさんとふたり、窓際に行き、小鳥たちの様子をしばらく見入りました。見ているうちに面白いことを発見しました。よく動き回っている小鳥以外はわからなくなるのです。小鳥たちの体の色と地面を張っている枯れ草の色がじつに似通っていて、じつとしている小鳥はもろろんのこと、くちばしを動かしたくらの動きでは区別できなくなってしまうのです。

この区別のしにくさを写真に収めよう、そう思った私は小鳥たちが動いているところにカメラを向けました。写真は数枚撮りました。それらをパソコンで映し出してみたら、思っていた通りでした。画像を拡大してよく見ないと、どこに小鳥たちがいるかさっぱりわかりません。雪に押し寄せ、地面をはっている枯れ草は白っぽいものと薄茶色のものが入り混じっていました。この混じり具合が小鳥の体の色とぴたりでした。

さっそく、インターネットで「小鳥たちがたくさん来てきます。どこに小鳥がいるかと、一生懸命さがしていたら、目が疲れました。さて、この写真には小鳥が何羽写っているでしょうか」と発信してみました。

すぐに反応がありました。学芸員のHさんが一番早く、「カシラダカが四羽でしょうか」とコメントしてくださいました。このコメントで、初めてカシラダカという名前的小鳥がいることを知りました。漢字で書けば、「頭高」と書くのだそうです。このほかにも、「六羽見つけました」「私も四羽しか見えません」などといった声が寄せられました。何人もの人たちが、小鳥探しで夢中になってくださったようです。

調べたところ、カシラダカはスズメ目ホオジロ科に分類される鳥類の一種で、シヨウビタキやマガモと同じく渡り鳥だといえます。興奮すると頭頂部の冠羽を立てるともありません。私が撮った写真でもいくつもの鳥が冠羽を立てていましたから、おそらく木の実や草の種などを見つけたのでしよう。「おーい、こっちにいっぱいいるよめもんあるよ」「おれんとこにもあるよ」などと言いながら大喜びしていたのだと思います。

これまでこうだと思っていたことが事実と違うことを知り、調べていくうちにいくつもの新しい知識を得る。今回のような出来事は、誰でも経験することかも知れません。それにしても、新しいことを知ったり、新しいことに出合ったりすることが、こんなにワクワクさせてくれるとは思いませんでした。

私の発信に応え、お寄せいただいたコメントでは、カシラダカが春近くなるとさえずると教えてくれた人もいました。いったいどんな鳴き声でさえずるのでしようか。三月下旬にはさえずりを聞くことができるとのこと、いまから楽しみにしています。

少雪のなかでも見事な「灯の回廊」出現



毎年、楽しみにしている「灯の回廊」。今年は、会議があつたので、大急ぎで車を走らせました。残念ながらごく一部しか見れませんでした。積雪が少ない中で、今年も見事な「回廊」ができましたね。



れたんだわ。うちは洗顔石鹸だったけどね」と声をかけてくださいました。楽しいひと時でした。「ロウソクの灯り」で大規模な光の風景をつくりだしていたのは浦川原区の「ゆあみ」(写真上)です。今年も見事でした。

【いもじり】先日、安塚区のOさんからいただいた山芋を使って「いもじり」を作りました。私はすりこき棒を使ってのばす仕事を手伝いました。



出来上がった「いもじり」、ご飯を何度もおかわりしました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月24日(水)	3月2日(水)
上越南消防署	0.053	0.050
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.047	0.040
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.060	0.053
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.053	0.050

大島区旭地区で行われた「あさひ雪遊び」はちょこっとだけ覗いてきました。舞台の上では、大潟区の太鼓グループ、「うみねこ」のみなさんと大島小学校児童による踊りが行われていました。ホテルも出てきて、すばらしかったです。詩吟では知っている人が何人もいました。従兄たちは今年も焼いた餅の販売などで頑張っていました。雪を楽しみ、大いに飲んで食べる、いい企画です。

帰り道、大島区大平にてカレーうどんを食べてきました。私の夕食です。食券を販売していたお母さんが、「うちの人もチョコと勘違いして、バレンタインのプレゼントを冷蔵庫に入